

## 夢

5組担任 河内 芳和

高校生活における夢は叶いましたか？  
ほとんどの人が「進路実現＝夢」だと思います。

では、夢を叶えた人は、何を目標として高校生活を送っていますか？

1、2年生の2年間、たくさんのお話を色々な場面でしてきました。その話を覚えている人、心に響いた人は、守れていると思います。しかし、そんなことも忘れて、自分勝手な行動をしている人もいます。

寝坊をして遅刻をする。学校をサボって遊ぶ。色つきリップをしている。髪をイジる。

その度に思います。あの2年間は無駄だったのかな。でも、これが悲しい現実です。  
それが残りの高校生活への目標ですか？高校卒業後に向けて努力はしないんですか？

遊ぼう！卒業旅行に行こう！という自分勝手な言動をして、迷惑をかけていませんか？  
まだ夢を叶えるために努力をしている人がいるのに・・・

猪名川高校の生徒に多い、問題点があります。大学や専門学校をすぐに辞める。  
理由は「自分にあっていない」「楽しくない」「通っている意味がない」など・・・

1学期や2学期の推薦など、早い段階で進路を決めている生徒が多く、約半年間の残りの高校生活を自由に楽しく遊びほうけている状態から、4月になって急に遊ぶ時間がなくなり、課題に追われたりすれば、そりゃあ楽しくないでしょう。面倒くさいでしょう。

遊ぶなどは言いません。しかし今の時間の使い方が大切です。これからは、自分で考えて、判断して、行動しなければなりません。

覚悟はできていますか？

## 12月の行事予定

\*印は休業日

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
* 1	日		16	月	
2	月		17	火	家族の日
3	火	期末考査①、家族の日	18	水	
4	水	期末考査②	19	木	センター試験受験者集会
5	木	期末考査③	20	金	
6	金	期末考査④	* 21	土	
* 7	土		* 22	日	
* 8	日		23	月	防災避難訓練、大掃除
9	月	期末考査⑤	24	火	終業式、家族の日
10	火	考査返却授業①25分×6 家族の日	* 25	水	冬季休業（～1/7） センター試験プレテスト①
11	水	考査返却授業②25分×6、 特色類型全体集会	* 26	木	英語特別講義 楊津小学校クリスマス会
12	木		* 27	金	センター試験プレテスト② 仕事納め
13	金	1限・フォーラム発表会 2限・インターンシップ報告会 3限・キャリア教育講演会	* 28	土	
* 14	土		* 29	日	
* 15	日		* 30	月	
*	*	* * *	* 31	火	

## 1月の行事予定

- 1 / 6 (月) 英語特別講義②
- 1 / 8 (水) 始業式 (定刻登校)
- 1 / 18 (土) ・ 19 (日) 大学入試センター試験
- 1 / 20 (月) センター自己採点
- 1 / 22 (水) ~ 28 (火) 学年末考査
- 1 / 28 (火) 考査最終日、大掃除、ワックスがけ
- 1 / 29 (水) 3年生家庭学習期間開始

### 【 諦<sup>あきら</sup>めない名言 】

- ステップ・バイ・ステップ。どんなことでも、何かを達成する場合にとるべき方法はただ一つ、一歩ずつ着実に立ち向かうことだ。これ以外に方法はない。マイケル・ジョーダン
  
- 100回たたくと壊れる壁があったとする。でもみんな何回たたけば壊れるかわからないから、99回まで来ていても途中であきらめてしまう。 松岡修造
  
- 結果が出ないとき、どういう自分でいられるか。決してあきらめない姿勢が、何かを生み出すきっかけをつくる。 イチロー
  
- 99%ダメ??あと1%あるやん。 辰吉丈一郎
  
- 「大変」の文字は「大きく変わるチャンス」。 サニー久永
  
- すべての大事業は、最初は不可能といわれた。 トーマス・カーライル
  
- どこかから面白くなってくるのよ。 所ジョージ
  
- 焦らない。でも、あきらめない。 斎藤茂太
  
- 自分の夢、そんなに簡単に諦められるかって話でしょ。 本田圭佑
  
- 踏まれてもたたかれても、努力さえしつづけていれば、必ずいつかは実を結ぶ。 升田幸三
  
- 最後に成功すれば挫折は過程に変わる。だから成功するまで諦めないだけ。 本田圭佑
  
- 自分自身を信じてみるだけでいい。きっと、生きる道が見えてくる。 ゲーテ

「高名の木登り」(『徒然草』109段)という話を知っているでしょうか。ある男に木の枝を切らせようと木登りを命じた名人が、高くて危険な場所ではいっさい声をかけず、軒の高さぐらいまで降りてきたところで初めて「注意して降りろ」と声をかけたという話です。その理由は、高いところでは言われなくても気をつけるが、もう少しで降りられるところまで来ると、気も緩み、つい油断をして失敗することがあるからだと言い、作者の兼好法師は、この木登り名人の話聞いて実にその通りだと感心した、という話です。

皆さんの高校生活も残りわずかというところまで来ました。木登りに例えれば、軒の高さまで降りてきている状態です。しかし、ここで気を緩めてはいけません。**これぐらいはいいだろう、などという油断や気の緩みが高校生活を台無しにしてしまうことは実際によくあることなのです。**卒業式の日を迎えるまで自分が高校生であることを決して忘れてはいけません。進路が決まっても決まっていなくても、最後の最後まで一生懸命に勉強し続ける、これが一番大事なことだと私は思います。(長山)